

●R5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」における目標等

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
梶原町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	時代の変化により学校と地域のつながりが薄れてきており、地域としては学校に対して何を支援できるか、学校側もどういったことで地域に協力を得られるかについても情報不足となっている。	・梶原町の地域学校協働本部「梶原町学校応援団」の活動をより気軽に活用してもらうために、チラシを作成し、年度初めの職員会で説明を行う。特に、今まで活用されたこと以外でも相談を受けられる様に、年度初めだけでなく、学期ごとに梶原町学校応援団のPRを職員会等で行うことでの活動の幅を広げる。 ・相談を受けた案件について梶原町学校応援団が地域につなげていく。	・梶原町学校応援団推進委員会では、地域の方の代表が委員となり、推進委員会で積極的に意見を出し合うことで協議できる場とする。	梶原町学校応援団は3つの部会に分かれているが、その中でも学校を支援することを目的とした「学校支援部会」として学校から相談を受けた回数を指標とする。	15	件	25	20	2 職員会等で広報は行ったものの、既存の授業への補助が多く、目標は達成できなかった。ただし令和4年度の15件よりも多くの相談を受けることができ、学校と地域の橋渡しとしての役割を一定担うことができた。次年度も、職員会での広報等を継続し、気軽に相談いただけるようにPRを行っていく。
	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	梶原町立小中学校でも多くの教職員が時間外勤務を行っている状況にあり、業務の負担軽減が課題となっている。	・梶原町の地域学校協働本部「梶原町学校応援団」の活動をより気軽に活用してもらうために、チラシを作成し、年度初めの職員会で説明を行う。特に、今まで活用されたこと以外でも相談を受けられる様に、年度初めだけでなく、学期ごとに梶原町学校応援団のPRを職員会等で行うことでの活動の幅を広げる。 ・相談を受けた案件について梶原町学校応援団が地域につなげていく。	・梶原町の地域学校協働本部「梶原町学校応援団」を活用してもらうことで授業計画や授業補助等で教職員の負担軽減をはかり、学校と地域とのつながりを強くする。	梶原町学校応援団は4つの部会に分かれているが、その中でも学校を支援することを目的とした「学校支援部会」として学校から相談を受けた回数を指標とする。	15	件	25	20	2 職員会等で広報は行ったものの、既存の授業への補助が多く、目標は達成できなかった。ただし令和4年度の15件よりも多くの相談を受けることができ、学校と地域の橋渡しとしての役割を一定担うことができた。次年度も、職員会での広報等を継続し、気軽に相談いただけるようにPRを行っていく。